



## 藤井 優子 愛仁会リハビリテーション病院



このたび、リハビリテーション科専門医の認定をいただきました藤井優子と申します。平成19年に大阪市立大学を卒業し、済生会中津病院で初期研修を修了後、大阪医科大学リハビリテーション医学教室に入局しました。その後、大阪医科大学附属病院、大阪府立急性期・総合医療センター、愛仁会リハビリテーション病院で多くの症例を経験させていただきました。ご指導いただきました先生方に、あらためて感謝申し上げます。今回専門医に認定していただき、リハ医としての第一歩を踏み出したと身の引き締まる思いです。まだまだ知識も技術も未熟であることを痛感する毎日ですが、患者様のQOL向上に少しでも貢献できるよう、研鑽を積んでまいりたいと思います。御指導御鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



## 田崎 智子 兵庫医科大学病院リハビリテーション部



このたびリハビリテーション専門医に加えていただくことになりました、兵庫医科大学病院リハビリテーション部の田崎智子と申します。平成21年に臨床研修医から兵庫医科大学リハビリテーション医学教室に入局し、道免和久先生をはじめとする諸先生方のご指導のもと、兵庫医科大学病院、ささやま医療センター、西宮協立リハビリテーション病院で、急性期から慢性期にわたる多種多様な疾患について勉強させていただきました。本年7月から兵庫医科大学病院のスタッフとして働くことになり、身の引き締まる思いです。リハ医として更なる研鑽に励む一方で、診療、教育、研究に微力ながら尽くしてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。



## 嶋 聰子 愛仁会リハビリテーション病院



この度、リハビリテーション科専門医に加えていただくことになりました嶋聰子と申します。市中病院にて初期研修を終了後、2008年より大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室に入局し、現在愛仁会リハビリテーション病院に勤務しております。その人が再びその人らしい生活を送るために、障害の程度や環境に応じてリハビリテーション医療を提供できる仕事をしていきたいと思っております。全身管理に始まり退院後の生活環境調整までと広い範囲であり、多職種とのチーム医療の重要性を実感しております。これからも諸先生方に御指導いただき、研鑽を積んでいきたいと思っております。今後とも御指導、御鞭撻のほどなどにとぞよろしくお願ひ申し上げます。



## 辻野 精一 大阪府立急性期・総合医療センター



大阪大学で学位を取得し神経内科専門医に認められたのち渡米し、コロンビア大学で3年半、帰国後も国立精神・神経センター神経研究所で9年間、遺伝性神経・筋疾患の遺伝子解析および遺伝子治療の研究に携わり、その後は医薬品医療機器総合機構および医薬基盤研究所の研究振興部において研究費配分に関わる行政職として勤務し、自分も両親も歳をとったなあと自覚するこの頃になりようやくリハビリテーション医療の重要性に気付くに至り、主として回復期リハビリテーション病棟専従・専任医としてその臨床に邁進すること6年、この度リハビリテーション医学会専門医に認めていただきました次第です。今後益々精進しこの分野の発展に貢献したい所存ですのでご鞭撻のほどどうぞよろしくお願ひいたします。

**第35回日本リハビリテーション医学会  
近畿地方会学術集会および専門医・認定臨床医  
生涯教育研修会開催にあたって**

第35回リハ医学会近畿地方会学術集会  
会長 平林伸治  
大阪労災病院リハビリテーション科

2013年9月21日(土曜日)に第35回日本リハビリテーション医学会近畿地方会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会を開催させていただきます。

開催時間は13時よりとし、土曜日に勤務されている先生、ご遠方の先生にも参加していただけるよう、準備させていただきます。

生涯教育研修会では、パーキンソン病、経管栄養(胃瘻)、膝関節の変性疾患をテーマに3名の講師の先生をお招きします。大阪保健医療大学センター長 阿部和夫教授には「パーキンソン病に対する運動療法—運動症状および非運動症状に対する効果」について、西宮市立中央病院一院長 根津理一郎先生には「内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を用いた栄養管理の現況と問題点」を中心として栄養からトラブル問題について、近畿大学医学部リハビリテーション科—福田寛二教授には「運動器リハビリテーションの最近の話題」についてご講演を賜わる予定です。いずれの講義におきましても、リハビリテーション診療や研究に役立つものと確信致しております。

一般演題は13時から開始の予定です。多数の先生方にお越し頂き、活発な議論が出来ますことを切に願っております。会員の先生方 宜しく御願い申し上げます。